

症状から推測ができる疑われる疾病表 ①

分類	発症部位	症状	併発症状	そのほか症状等	疑われる疾病	備考
頭痛		激しい頭痛	①嘔吐 ②意識障害		くも膜下出血	
	全体・後頭部目の奥に限局	爆発しそうな頭の痛み	①悪心 ②嘔吐 ③意識障害			
		頭痛が突然に現れる	①吐き気 ②嘔吐 ③熱発	程度がだんだん強くなる		
頭痛		激しい頭痛	①嘔吐 ②意識障害		脳出血	突然に
		突発的な激しい頭の痛み	①めまい ②嘔吐 ③起立・歩行不能 ④ケイレン	いびき(大) 顔面赤色(のぼせた色)		
	頭の後ろから後頭部	頭痛が突然に現れ程度がだんだん強くなる	①吐き気 ②嘔吐 ③熱発	締め付けられるような痛みまたは全体の圧迫感	脳出血急性脳髄膜炎	
頭痛		頭が痛い	①めまい ②一過性麻痺 ③失語 ④目が見えても読めない	顔面蒼白 (朝)手足のしびれ (徐々に出る)意識障害	脳血栓 ⇒ 脳梗塞	夜寝ていることが多い
頭痛		頭が痛い	①めまい ②麻痺 ③ケイレン	痴呆・興奮状態を伴うことが多い	脳塞栓 ⇒ 脳梗塞	突発的に
頭痛	頭部の外傷	頭が痛い	①嘔気・嘔吐 ②視力障害 ③片麻痺	アルコール常用者が多い	硬膜下血腫	外傷後数週間から数ヶ月を過ぎて
		連日の頭痛がだんだん強くなる、	①吐き気 ②嘔吐	老人ボケと似たような症状		
頭痛	頭全体又は片側	激しい頭痛	①嘔吐 ②発熱 ③ケイレン ④麻痺		脳静脈血栓症	
頭痛		頭がずきずきする	①嘔吐 ②ケイレン ③意識障害 ④視力障害 ⑤血圧低下		高血圧性脳症	軽くてすぐ治ることも多い
頭痛	頭全体	持続する頭の痛み	①嘔吐 ②発熱 ③悪心 ④首が硬くなる		髄膜炎 脳炎	
頭痛		激しい頭痛	①嘔吐 ②視力低下 ③結膜充血		急性緑内障	
		眼痛				
頭痛		次第に激しくなる頭痛	①嘔吐 ②悪心 ③耳なり ④めまい ⑤意識がうすれていく		一酸化炭素中毒	
頭痛		頭が痛い	①咳 ②めまい ③耳なり	④高度は意識を失う	高炭酸ガス血症	真夜中から早朝
頭痛		座位、立位、頭を持ち上げると激しい痛み	①嘔吐 ②悪心 ③めまい ④失神	臥床時はなんともない	低脳圧症候群	
頭痛		鈍頭痛から咳、くしゃみ、笑いの動作で強くなる	①嘔吐	嘔吐すると軽快	脳腫瘍	朝目覚めた時など
		連日の頭痛がだんだん強くなる、	①吐き気 ②嘔吐	老人ボケと似たような症状		
頭痛	側頭部	他の症状を数週間経てのち激しい頭痛	①発熱 ②倦怠 ③体重減少 ④筋・関節痛		側頭動脈炎	50歳以上女性に多い
頭痛	一側の目の奥とその周辺	激しい頭痛	①流涙 ②結膜充血 ③鼻閉 ④顔面紅潮	発作的に毎日1~2回	群発頭痛	夜中が多い
頭痛	頭後半部・首筋	筋肉が緊張、締め付けられるよう	①肩の痛み		緊張型頭痛	
頭痛	頭前半部の片側・両側	脈打つようなズキンズキンとした痛み	吐き気	発作的に2~3時間、思春期から更年期の女性に多い	片頭痛	①鎮痛剤を服用 ②心身の安定を計る ③マッサージを軽く行う
頭痛	後頭部から後頭部	頭が締め付けられるような痛み又は全体の圧迫感			筋収縮性頭痛 目や鼻の病気 ストレス	
頭痛		頭が痛い			ガス中毒・酸欠	新鮮な空気を吸う

【脳卒中が疑われるときの処置方法】

- ①頭が動揺しないよう静かに移動し安静を保つ
- ②仰臥位 顔は横向き 下顎挙上(吐物にそなえて)
- ③顔が紅潮している場合は上半身をやや高く(30度位)にする
- ④保温が必要だが重い布団は掛けない
- ⑤嘔吐がある場合は側臥位
- ⑥(意識を出させるためにと)無理に刺激をしない
- ⑦意識障害がある時はいびきをかくことが多い(舌根沈下による窒息の危険があるので気道を確保する)
- ⑧昏睡状態にあるときは仰向きに寝かせない(枕を使わないで顔を横に向けるか側臥位にする)
- ⑨(必要なら)人工呼吸をする
- ⑩痙攣は舌を噛まないよう口中にタオルを入れ手足を押さえる

以下の症状では移送困難、予後も不良
 *呼吸が非常に乱れる
 *瞳孔が拡大し、左右差があり、対光反応がない
 *手足をかたく突っ張っている
 *痙攣を何回もおこす
 *つねっても全く動かない

症状から推測ができる疑われる疾病表 ②

分類	発症部位	症状	併発症状	そのほか症状等	疑われる疾病	備考	
意識障害		失神	血圧低下		くも膜下出血		
		突然の激しい頭痛	嘔吐				
意識障害		失神	血圧低下		脳出血		
		突然の激しい頭痛	嘔吐		脳出血(小脳出血)		
		突然に昏睡状態となる	①瞳孔縮小 ②頻脈 ③呼吸異常 ④四肢麻痺		脳出血(橋出血)		
		激しい頭痛	急速に①片麻痺 ②失語		脳出血(視床出血) 脳出血(被殻出血)		
意識障害		外傷直後に意識障害がおこる			脳振とう 脳挫傷		
		外傷の数時間後におこる			硬膜外血腫		
		外傷の数日から数か月後に			硬膜下血腫		
意識障害		頭痛	①麻痺 ②ケイレン ③失語 ④視力障害 ⑤熱発軽度		脳腫瘍		
		めまい	①動悸 ②四肢の冷感	一時的、もし短時間で回復しなければ受診	脳貧血		横に寝かせ、枕をせず、毛布などを掛けて保温
		熱がある			脳炎 髄膜炎		
意識障害		失神	血圧低下		てんかん 心臓発作	全身ケイレンの場合は口中にタオルを入れ手足を押さえる	
		脈が著しく乱れる	徐脈 40/分 以下、頻脈 180/分 以上		不整脈	気道確保、人工呼吸、心臓マッサージ	
意識障害		呼吸に臭いがある			ガス中毒 アルコール中毒		

分類	発症部位	症状	併発症状	そのほか症状等	疑われる疾病	備考
めまい		意識障害	①動悸 ②四肢の冷感	一時的、もし短時間で回復しなければ受診	脳貧血	横に寝かせ、枕をせず、毛布などを掛けて保温
めまい		半身しびれや麻痺	①失語 ②半盲 ③複視	(単独症状の場合もある)	一過性脳虚血発作	数分から数時間
めまい		たちくらみ			貧血 血圧低下	安静にして横臥位
めまい		精神不安定	吐き気		脳神経あるいは内分泌疾患	落ちつかせ、水分を少量与え、保温
めまい		ぐるぐる回る	①吐き気 ②嘔吐		内耳の前庭器官障害 脳の前庭中枢障害	

分類	発症部位	症状	併発症状	そのほか症状等	疑われる疾病	備考
呼吸器系異常	胸骨の裏側	圧迫感 もやもや感	冷や汗をかき、死にそうと訴える	一時的(数分) 15分以上は心筋梗塞	狭心症	亜硝酸剤(ニトログリセリン)を服用
呼吸器系異常	前胸部から左胸部内	苦悶感 左胸から腕へ痛みが拡散する	①冷汗 ②嘔気 ③嘔吐	極度の不安感	急性心筋梗塞	ニトロは無効
呼吸器系異常	胸	息苦しい 胸が締め付けられる		突然におこる	狭心症 心筋梗塞 自然気胸	①上半身をおこし、座位又は半座位にすると多少呼吸が楽になる ②酸素吸入をする
呼吸器系異常	鼻・口	息苦しい 呼吸困難	かぶれ		アレルギー体質	
呼吸器系異常	呼吸停止	水を多く飲んでいる	心臓停止		溺死	人工呼吸・心臓マッサージ
	呼吸停止	(風呂場など)	心臓停止	①電源を切り、ゴム長靴、ゴム手袋を用い感電部から離す ②人工呼吸・心臓マッサージ吸入をする	感電	
	呼吸停止	異物が詰まった		①手にタオルなどを巻いて口の中に入れ除去 ②うつむかせ、背中を強く叩く ③背部から両腕を胸腹部に回し、急激に圧迫する	気道閉塞	※あわてて異物を奥に押し込まないように
呼吸器系異常	胸	動悸	①めまい ②意識障害 ③四肢の冷感		脳貧血	
呼吸器系異常	喉	食物の嚥下に際し、骨が刺さったような激しい痛み			舌咽神経痛	

症状から推測ができる疑われる疾病表 ③

分類	発症部位	症状	併発症状	そのほか症状等	疑われる疾病	備考
呼吸器系異常	嘔吐 (吐き気)		①頭痛 ②発熱		クモ膜下出血 脳出血 急性脳髄膜炎	
呼吸器系異常	嘔吐 (吐き気)		ボケと似たような症状	頭痛	脳腫瘍 硬膜下血腫	
呼吸器系異常	嘔吐 (吐き気)			①めまい ②精神的不安定	脳神経疾患 内分泌疾患	保温と水分補給
呼吸器系異常	嘔吐 (吐き気)				胃十二指腸潰瘍・癌 肝臓病	窒息を防ぐ ※血液が混じっていたり後頭部の激痛は受診
呼吸器系異常	嘔吐 (吐き気)	乗車中のめまい			乗り物酔い 自律神経失調症状	バンド、ネクタイを緩め、体を開放し、横向きに寝かせる
呼吸器系異常	嘔吐(吐き気) 生あくび		①頭痛 ②悪心		ガス中毒 酸欠	新鮮な空気を吸う

分類	発症部位	症状	併発症状	疑われる疾病	備考
出血	口から	少量では痰に色がついたり、血が混じっている 多量では比較的鮮やかな色	→ 喀血(呼吸器系の病気)	肺結核・肺ガン 気管支拡張症	大量出血の場合は窒息の危険があるので、体を横に向かせて寝かせ、血を外に吐き出させる
出血	口から 食道から	どす黒い	→ 吐血(消化器系の病気)	潰瘍・ガン 肝臓病	※大量出血の場合は、生命の危険がある
出血	体表	赤く鮮やかな血が拍動性に噴出→動脈 暗赤色の血が脈打たないで流出→静脈	傷を受けた時の状態をよく憶えておく	傷害	※大出血ではショック状態 ①大出血の場合は止血する(強く緊縛する) ②頭を低くし、下肢を挙上する
出血	頭部	耳や鼻から出血又は 黄色液(髄液)が出ている		頭蓋骨骨折	※絶対安静※
出血	口から	咳や血痰が出る	心臓喘息様 (気管支喘息のよう)	急性心不全	座位にして呼吸を楽にする ※ショックや意識消失に注意する
出血	口 肛門	咳や痰が出る 血便が出る	①急激な体重減少 ②腹痛 ③ 食欲低下	消化器系疾患	検査する
出血	皮下出血(青あざ)			血液疾患 血管の病気、そのほか	打撲の場合は十分に冷やす そのほかの場合は、内科を受診
出血	下血(消化器系)	便とともに出血 (赤色やコールタール色)		潰瘍・ガン	
出血	血尿		①残尿感 ②排尿痛	尿路炎症 ガン	激しい運動をしないこと

分類	発症部位	症状	併発症状	そのほか症状等	疑われる疾病	備考
腹痛・胸痛	腹	腹痛	①下痢 ②嘔吐 ③熱発		食中毒	
腹痛・胸痛	腹	腹痛、便に血が混じる(黒い)	①食欲低下 ②体重減少		消化器疾患	検査する
腹痛・胸痛	腹	背中から下肢に痛みが非常に強く移動する	尿の異常		尿路結石	水分をとり、患部を保温する
腹痛・胸痛	腹	イ.腹痛(歩いて痛みがひびく) ロ.腹痛	イ. ①便秘異常 ②嘔吐 ③発熱 ロ. 上記の症状がない		虫垂炎 腸閉塞	イ.手術 ロ.保温、絶食又は消化の良いものを
腹痛・胸痛		息苦しい、胸が締め付けられる (軽い動作後に) 動悸、呼吸困難疲労感 (安静時でも) 咳・痰、手足や顔にむくみ 指尖部・口唇が紫色・・・などさまざま	①浮腫 ②肝腫大 ③腹水 ④ 乏尿 (突然に) ①心臓喘息 ②呼吸 困難 ③血痰	数日間の急性から、数年間の 慢性まで	心不全 (右心不全) 心不全 (左心不全)	寝るのも苦しいので、もたれ座って呼吸などを する
腹痛・胸痛	前胸部から 左胸部内	時には胃痛・腹痛、続いて胸 内苦悶がおこり、血圧も低下 するが、自覚症状がない場合 もある	①冷汗 ②嘔気 ③嘔吐 ④不 整脈 ⑤呼吸困難 ⑥極度の不 安感	発作は長く、数日の場合も ある	心筋梗塞	二ト口は無効

症状から推測ができる疑われる疾病表 ④

分類	発症部位等	症状	併発症状	そのほか症状等	疑われる疾病	備考	
体全体・そのほか	ケイレン		意識障害		脳血管障害 てんかん 脳腫瘍	全身の場合は、舌をかまないよう口の中にタオルを入れ、手足を押さえる	
体全体・そのほか	転倒後 起立不能	一步も歩くことができない	患部を固定する ①患部を30分以上流れや冷水で冷やす ②腫れを防ぐため包帯を巻いて圧迫する ③患部を心臓に位置より高く保つ		大腿部頸部骨折 捻挫・ひび程度骨折	※指関節の脱臼は引っ張るとよい※	
体全体・そのほか	転倒後 起立不能	一步も歩くことができない			アキレス腱が切れた	患部を冷やす	
体全体・そのほか	不眠	①騒音、照明、室内温度や湿度の調整、換気 ②寝間着や寝具は使い慣れたもの ③寝る前に軽体操をする ④空腹や満腹を避ける ⑤少量のアルコールを飲む ⑥昼間の興奮、緊張、不安などを避ける					
体全体・そのほか	不眠	せん妄や尿失禁、言語障害がおこり、泣いたり笑ったりして情動不安定になる				多発性脳梗塞 (脳血管性認知症)	
体全体・そのほか	全身的	歩行異常や動作がのろい、小刻みのヨチヨチ歩きとなり全身の筋が固くなる 言語障害、嚥下障害、尿失禁、情動不安定なども伴いやすい				多発性脳梗塞 (血管性パーキンソニズム)	
体全体・そのほか	全身的	健忘、無関心や歩行障害、意識障害、妄想を生じて次第に認知症状態となる				亜急性脳炎 (エイス脳症)	
体全体・そのほか	冷や汗	胸痛			急性心筋梗塞		
体全体・そのほか	四肢の冷感		①めまい ②意識障害 ③動悸		脳貧血		
体全体・そのほか	肩が凝る		血液循環を良くする(叩く、揉む、暖める) 原因疾患の検査を要す		高血圧 精神的緊張の持続		
体全体・そのほか	激しい腰痛	物を急に持ち上げた			ぎっくり腰	膝を曲げて横臥させる	
体全体・そのほか	激しい腰痛	下肢のしびれや痛み つま先立ちができない	安静臥床(硬めの布団に仰向けに寝かせ、膝の下に座布団や枕を挿入し、股関節と膝関節を軽く曲げる)		椎間板ヘルニア		
体全体・そのほか	顔面、特に頬	突発性に繰り返して発現する 電撃的疼痛		突発性	三叉神経痛		
体全体・そのほか	後頭部	数秒間ずつ、ときどき激痛を繰り返す			後頭神経痛	数秒間ずつ時々	
体全体・そのほか	乏尿	手足の浮腫、尿が少ない(400ml/1日以下)			腎臓・心臓の障害	水分、塩分は控える	
体全体・そのほか	乏尿	急激な体重の減少、尿が少ない(400ml/1日以下)	※急激な場合は 1.涼しい場所に移し 2.衣服を脱がせ 3.濡れたタオルで水冷する		脱水	水分補給	
体全体・そのほか	尿が出ない	突然、尿が出なくなった			前立腺肥大(男)	水分を控え、受診	
体全体・そのほか	下痢	①腹痛 ②嘔吐 ③発熱	1.体内から毒素を出す(下痢止め、嘔吐止め薬を使用しない) 2.(脱水予防のため)水分をとる 3.体の保温をする		食中毒	疑わしい食品の摂取時間、その後の経緯や症状の変化を確認しておく	
体全体・そのほか	歯が痛い	頸部リンパ腺が腫れる			感染症 骨髓炎		

分類	発症部位等	症状	併発症状	そのほか症状等	疑われる疾病	備考
外部よりの障害		水膨水がある A 軽いやけど B 科学物質による C	A 感染、ひきつれなどの機能障害が心配される B 流水で30分以上冷やす C 流水で2時間以上冷やす		やけど	
外部よりの障害		日焼け A 日焼け B 広範囲で水泡がある	A 患部を冷やす B 生命の危険があるので受診		日焼け	
外部よりの障害	限局的 かゆみ				虫刺されと その二次感染	患部を冷やす 搔かない
外部よりの障害	全身的 かゆみ		過度の運動、発汗、アルコールや刺激の強い食べ物を避け ウールやナイロンの肌着、過度の冷房・暖房をしない		老人性乾皮症 糖尿病・肝臓病	※原因を追究※
外部よりの障害	かぶれ	範囲が狭く、呼吸困難でない A 範囲が広く、息苦しきがある B	A 患部を冷やす B 生命の危険があるので受診		皮膚の過敏反応 アレルギー体質	
外部よりの障害		意識がある A 意識がない B	A コップ一杯の水を飲ませ、無理に嘔吐させる B 窒息を防ぐため体を横向きにする(毒物の種類、量、体内に入ってから時間の経過を確認しておく)		毒物を飲んだ	
外部よりの障害		異物が刺さっている A 液体又は異物が小さい B	A 受診 B ①清潔な水を洗面器に入れ、水中で目を開閉し洗浄する ②濡れたガーゼなどで除去する		異物が目に入った	
外部よりの障害		①傷口から毒を絞り出したり、吸いだす ②できるだけ心臓に近い部分を固く縛る			蛇に咬まれた	
外部よりの障害		狂犬病の予防接種を受けていれば心配ない。傷口を清潔にして、二次感染を防ぐ。			犬に咬まれた	